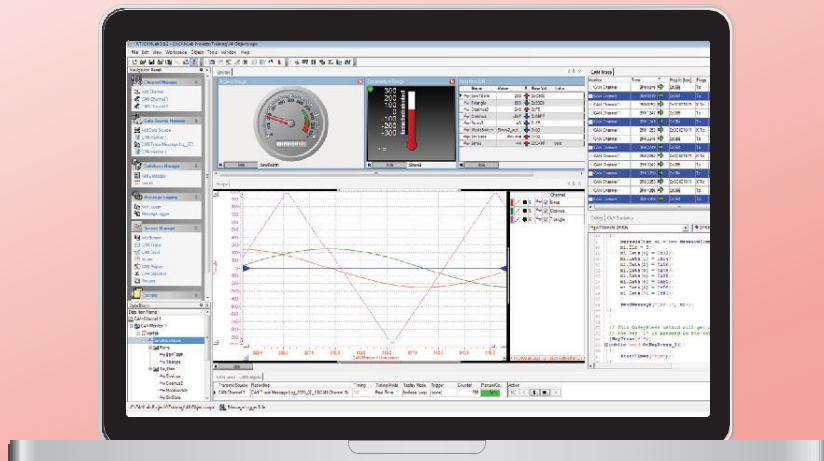
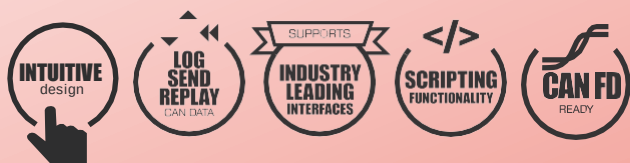


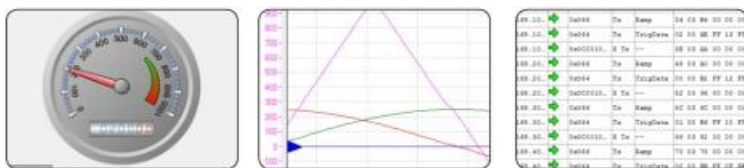
CANLab ネットワーク解析 ソフト



CANLabネットワーク解析ソフトウェア

CANLabはCANおよびLINバスネットワーク向けの完全なソリューションを提供するネットワーク解析ツールであり、様々なハードウェアインターフェイスやそれらをサポートする業界標準データベースを提供します。CANLabを使用することにより、ネットワーク活動の監視、信号やメッセージの送受信、データの記録や再生、およびデータ操作・解析、統計の確認をすべてリアルタイムで行うことができます。

CANLabは、バス負荷、エラーカウントやメッセージの受信など、多岐にわたるネットワーク解析機能を備えています。様々な異なる形式でリアルタイムのバスメッセージを表示したり、後解析用にデータを記録します。さらに、メッセージパターンを強調表示することで、バストラフィックを見やすく表示してトラブルシューティングを行うことができます。



特徴

- 多様なCANハードウェアインターフェイスをサポート
- CAN/CAN FDの両方に対応
- CAN DBCおよびLIN LDFファイルに対応
- 多様なログファイル形式へのインポート/エクスポート
- 追加費用なしで解析およびスクリプト機能を実現
- 精巧なストリップチャート記録および再生機能を提供
- CCP / XCP / KWP プロトコル 解読機能

記録済信号、リアルタイム信号、統計データは同時にグラフ化され、視覚的に解析を支援

ロギングまたは記録

CANLabアプリケーションの下部に表示されるタブをダブルクリックするだけで、メッセージのロギング/信号の記録を即座に開始または停止することができます。また、トリガーを定義して、レコーダーとロガーを制御することも可能です。

送信

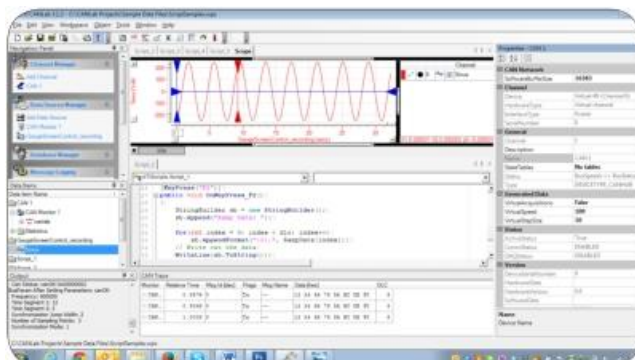
事前定義あるいはカスタム定義されたメッセージを選択し、バスに送信します。これらはメッセージのシーケンスを定義するために、個別にまたはグループ化されたメッセージを通じて送信されます。カスタマイズ可能なトリガーイベントを使用して、メッセージの送信を開始できます。これによりゲートウェイのロック解除、コントローラのシミュレーションもしくはトラブルシューティングのためのプロトコルのデバッグを行い、CANLabを通じて検証可能になります。

再生

以前に記録されたCANトラフィックの再生はネットワーク診断にとって非常に重要です。CANLabの再生機能では、存在しないノードをシミュレートし、実際ののデータをテストモジュールに送信して検証を行います。

追跡

CANLabのトレースウィンドウでは固定モードまたはスクロールモードでメッセージや信号レベルに応じたバストラフィックを効率的にモニターすることができます。固定モードではデコードされた信号の値を見やすく拡大することができます。様々なメッセージのフィルタリングや強調表示機能により、メッセージ表示をさらに細かく解析することができます。



グラフィカル表示

CANLabの特徴は、信号を表示・解析するダイヤルとゲージであり、これはデータ解析プロセスを大幅に改善します。ストリップチャートレコーダーは信号と統計を同時に記録またはリアルタイムでグラフィカルに表示します。

信号値を既存の記録済データに合わせて時間調整することで、すべて同じ画面（ウィンドウ）での迅速なリアルタイムデータ解析を可能としています。

データ後解析

CANLabではデータ表示を完全にカスタマイズすることができます。生値や加工値、絶対または相対メッセージのタイムスタンプ、強調表示やトレンドアローなどを使ってデータ項目を表示します。値の範囲、あるいは送信メッセージや拡張識別子などのメッセージプロパティなど、メッセージIDや条件に基づいて強調表示することにより、データ解析を支援します。

CANLabの高性能な計算チャネル機能により、スクリプトを作成せずに追加の信号を作成することができます。例えば車速信号をバスから取り出して加速度と距離を計算など、CANLabには膨大な数の数学関数が内蔵されており、ユーザー関数を含むDLLを参照することで機能をさらに拡張できます。これらのツールは全てのCANLabユーザーが利用でき、データ解析を可能な限りシンプルかつ強力にします。

スクリプティング

すべてのCANLabユーザーが利用できるCANLabのスクリプト言語はC#言語に基づく構文で多くの機能を備えています。ユーザー設定可能なエディターと構文の協調表示により、学習が容易で、信頼性が高く安定したソリューションを提供します。

さらに、CANLabスクリプトはCANLabアプリケーション内で実行でき、より高速でリアルタイムの機能が保証されます。「メッセージ受信時」、「信号受信時」、「キー押下げ時」、「タイマー時」などの様々なタイプのイベントに応答する複雑な機能を作成します。CANLabの機能を拡張して、メッセージを処理だけでなくデータも解析します。また、スクリプトを保存し、テストセットアップではなくテスト実行時にも再利用することもできます。

問い合わせ先

ATI Japan
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-9-7
フロンティア新宿タワーオフィス 304
Email:sales_jp@accuratetechnologies.com
TEL:03-6868-4298 FAX:03-4363-7100

